

先生のイチ推しシーン!

達人自らが「お気に入り」というシーンは…?

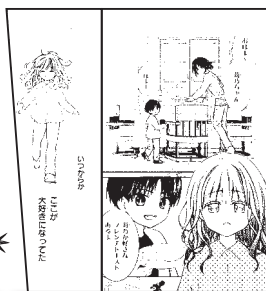
これぞ魔法ファンタジー! な見せ場が描けたシーン



「ドラゴンをめちやくちゃ頑張ったので見て欲しいです」

▲魔獣はすべて先生が考案して描かれていますが「とにかく大変(笑)」なんだとか。「ワイバーンのなドラゴンにしたかったんです。手足を作って翼を生やしてと、考えているときはとっても楽しいんですが、いざ描き始めると本当につらくて…」と先生。ご苦労の甲斐あって、とっても迫力ある仕上がりに!

最近のお気に入りのシーン



「刈乃の根本にある風景として大事な場面です」

▲刈乃の過去編より。朝、起き抜けの刈乃を優しく迎える十魔と十魔の母。「この、幸せで温かい風景をずっと大切にしたいと思っていた刈乃の気持ちが、ちゃんと表現できたと思います」と先生。自分が壊してしまった優しい時間…その悲しさとの対比で、より幸福感が引き立ちます。

次回(9号)は
投稿者必見!

スペシャル特集回!!
お楽しみに!!!

時が止まる

天魔の急襲に強い憎悪を見せる刈乃…からの無音コマ。あえて背景を白くしセリフも入れないことで、時が止まったように見える。読者の「何が起ころのか」という好奇心をくすぐってページをめくらせる、達人ならではのテクです。



徐々に動き出す

「トン」という合図とともに、時が緩やかに動き出す。刈乃の表情を見えないようにしているのが、かえって不穏な空気をはらみ出す。



圧巻の見せ場

古代魔法の凄さが炸裂! 時を止め、期待感を徐々に煽る構成だからこそ生きた衝撃のクライマックスです。



その2 見せ場の前に時を止める

見せ場を作るには、そこまでの過程が重要だと先生は言います。「私は4Pごとに小さな見せ場を作り、読者を飽きさせないようにしたいと思っています。時を止めるIIセリフやモノログを入れない絵だけで見せるコマを入れることで、物語のテンポを良くし、読者の期待や焦燥を煽るので、「それを積み重ねていくことで、最後の見せ場を最大限に盛り上げることができます」。

まんが家直伝! 達人の技で、まんががどんどん上手くなる!

Sho-Comi
まんが
アカデミア

達人に聞け

まんがが上手になりたい! でも、作画にストーリーに演出…いきなり全てをアップデートするのは難しい。だったら、まずはひとつ自分の“武器”を手に入れよう! そのためのテクニックを、その道の達人であるまんが家先生に直撃インタビュー。月イチだけのスペシャル連載です!!

第18回 見せ場の達人

くまがい杏子先生

魔法陣クロノカノン

誰もが魔法を使える世界。魔法の使えない刈乃は、エリート魔法使いの十魔に誘われ魔法学校に入学。しかし入学早々、刈乃は恐るべき力を解放し…。古代魔法をめぐる、絶望と愛の魔法ファンタジー。



その1 読者の心を動かす見せ場=読者の予想を裏切る見せ場

顔アップの注意点

見せ場でよく使われる顔のアップですが、なんの前触れもなく突然アップにすると読者が驚いてしまうことも。「作品世界ではアップのキャラを見ている別のキャラがいるので、キャラの位置関係がわかるようなコマを前か後ろに入れておくことが大切です」と先生。アップのキャラの視線は読者と見せかけて、本当はアップのキャラを見ている別のキャラだということを忘れないで。



「ヒーローの見せ場は、読者を惹き落とすぞという気持ちで描いています」と先生。表情やセリフでヒーローの魅力を爆発させて!

見せ場にするのはキャラの心が動くシーン、とよく言われますが、同時に読者の心も動かなければ最上級の見せ場とは言えません。読者の心を動かすには、先生曰く「意外性が大切」なんだそう。たとえば、告白を見せ場にする場合「好き」と告げる場面は、展開によっては読者が最も予想しやすく、面白みに欠ける場合も。そこで「告白前後の表情や言動を見せ場にしてみよう。読者に新鮮な印象を与えられるかもしれません」と先生が言うように、ひとつの状況でも切り取る瞬間によって意外性が生まれ、印象的な見せ場となるのです。

キスシーンはここでさらっと!



▲「チョコレート・ヴァンパイア 番外編」(魔法陣クロノカノン)1巻所収より

キスシーンを
見せ場にする場合

「キスした瞬間」ではなく、キス後の表情を見せ場にした例。2人の恍惚とした表情に、こちらまでドキドキしてしまう見事な見せ場です。とはいえ「キスや告白の瞬間を見せ場にしてはいけない、ということはありません。ただ、それを意外性と思わせられるような演出や展開が必要」と先生。何を見せたいか、それをどう見せるのか、しっかりと考えて



刈乃のアップの下に小さく十魔を入れることで、十魔が会話相手であり、また、刈乃のこの表情が十魔の心をときめかせたんだということがわかります。

魔法シーンは光源を意識して



光源

▲「魔法の特別感」は光で演出します。ホワイトを2〜3種使った魔法が放たれる光源が「一番明るくなるように」。外にいくほど暗くなるよう明るさを調整しています。



右ページでは白い背景&ベタで暗い印象を与えつつ、左の見せ場で一気に華やき! 刈乃の表情とともに深い印象を残します。

魅力的な見せ場を生む達人のインプット術

「まんがやアニメ、映画で、自分が心を動かされたシーンの少し前から見返して、カメラワークや明暗、物語のテンポなどを確認。なぜ心が動いたか徹底的に研究します。丸覚えはバクリと同じなので、エッセンスを取り入れるイメージです。咀嚼して自分のものにして、自然とアウトプットできるよう心掛けています」